

---

# 思い描けば

琉迅鳴門

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

思い描けば

### 【Zマーク】

N4878A

### 【作者名】

琉迅鳴門

### 【あらすじ】

夢について書いてみました。まったく違う意見だという方スイマセン。

私には昔から『夢』がなかつた。

ある日幼稚園で将来の夢は何かと聞かれ、私は初めてこの事実に気がついた。今でも衝撃的な記憶として残つている。

そしてその時、私はこう答えた。

「お菓子屋さんかお花屋さん」

ただ友達が言つていたよくある将来の夢をいつてみた。加えて笑う。これで先生にはきっと一般的でちょっと欲張りな女の子に見えただろう。

少し計算高い私的人生には将来の夢は何かと聞かれる場面が多くつた。私はいつも好きに答える。昔は普通に見られたかつたが、今は夢を語ることで目立ちたい。ほとんど誰もが就職先に入れないので物ばかりをあげていた。歌手や女優、小説家に。ピエロ。ちなみに今この夢はミックキーマウスの中に入ること。

大体の人がこれに食いついてくる。その度に私はこれから進路はこうすると自慢げに話した。

そんな感じでいつまでたつても夢への関心がまったくおきない中、ふと思つた。

私はこのまま死んでしまうのだろうかと。

このまま何も遣り遂げずに死んでしまうのだろうかと。  
しばらく黙つて考えた。

きっとそんなのでは後悔するぞと誰かが囁いていた気がした。

こうして私は今、夢を探す旅にでた。時には逃げ出しあくもなる。ずっと眠つていたいが、私はそうしなかった。

私が夢を見つけられない間も、体は衰えているのだから。

焦らなくてもいいと誰かがいう。夢なんて放つておけばできると。そんな人にはきっと夢なんて見つからない。夢は放つておいても出

来ない。

心のキャンパスに思い描かなければ。

いつか私にも終わりが来る。その時は幸せでいい。  
私はハツと気が付いてノートを見た。小さくあくびをし、ベッドに  
移動する。

さあ眠ろう。

新しいキャンパスを用意して。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4878a/>

---

思い描けば

2010年10月11日02時12分発行